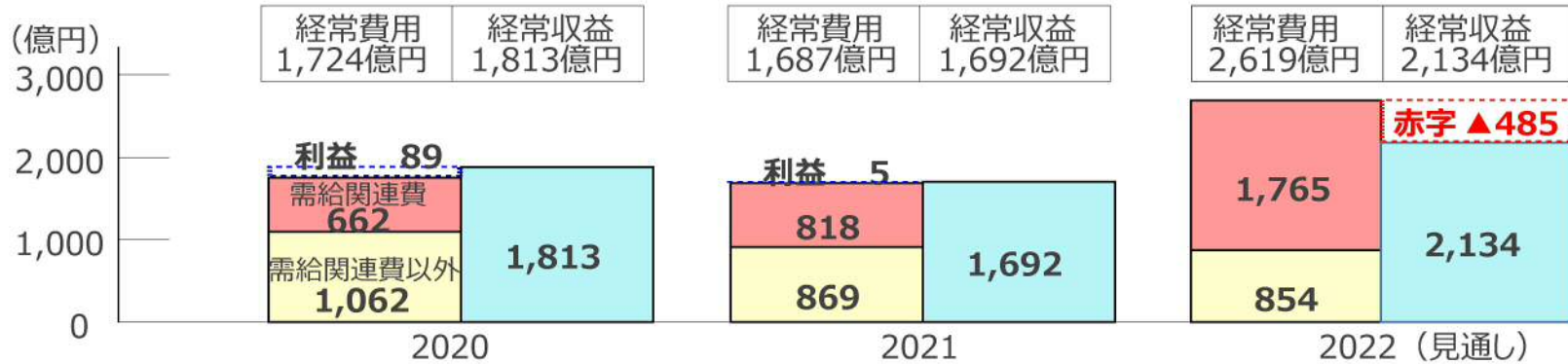


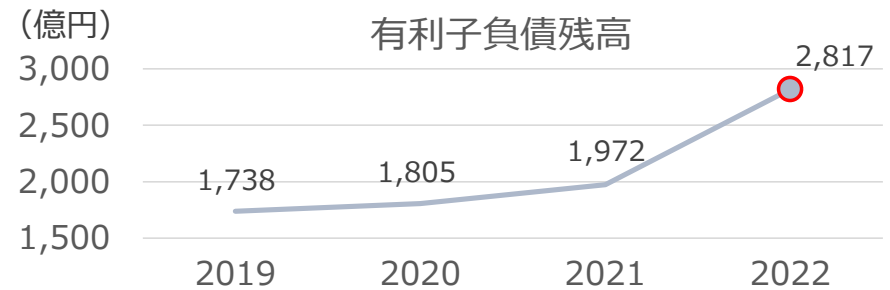
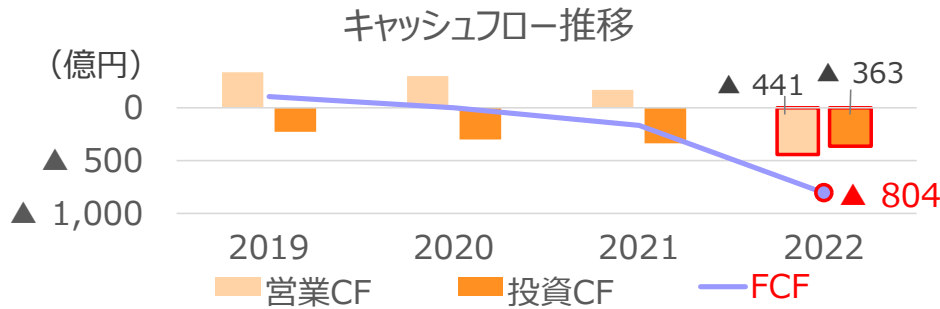
電気料金の値上げ改定について (概要説明版)

当社の経営状況（収支・財務）

- ▶ ウクライナ情勢による資源価格の高騰および為替レートの円安の進行により、燃調上限を大幅に超過した状況となっており、この上限超過分の影響のため、2022年度の個別業績予想は485億円の経常損失となる見通し。

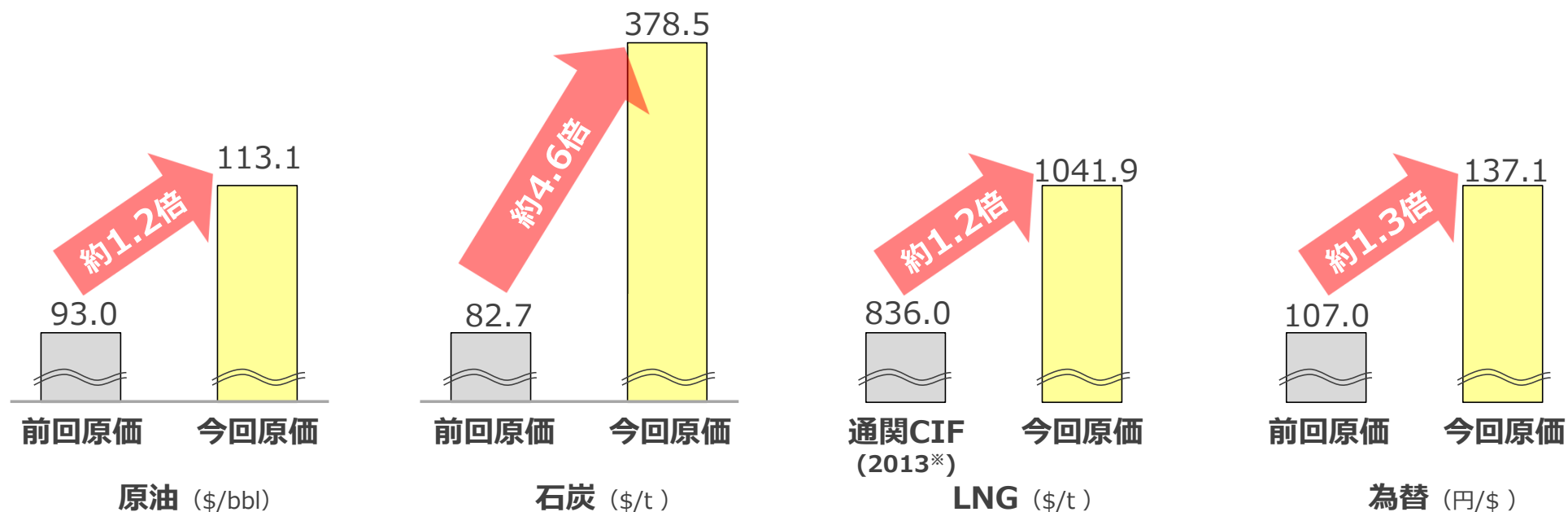


- ▶ 2022年度のフリーキャッシュフロー（FCF）は▲804億円となり、有利子負債残高は2,817億円に達する見込み。2022年度以降の財務状況については、現行の料金水準を維持したままでは、資金調達にも支障をきたすおそれ。



原価算定における前提諸元

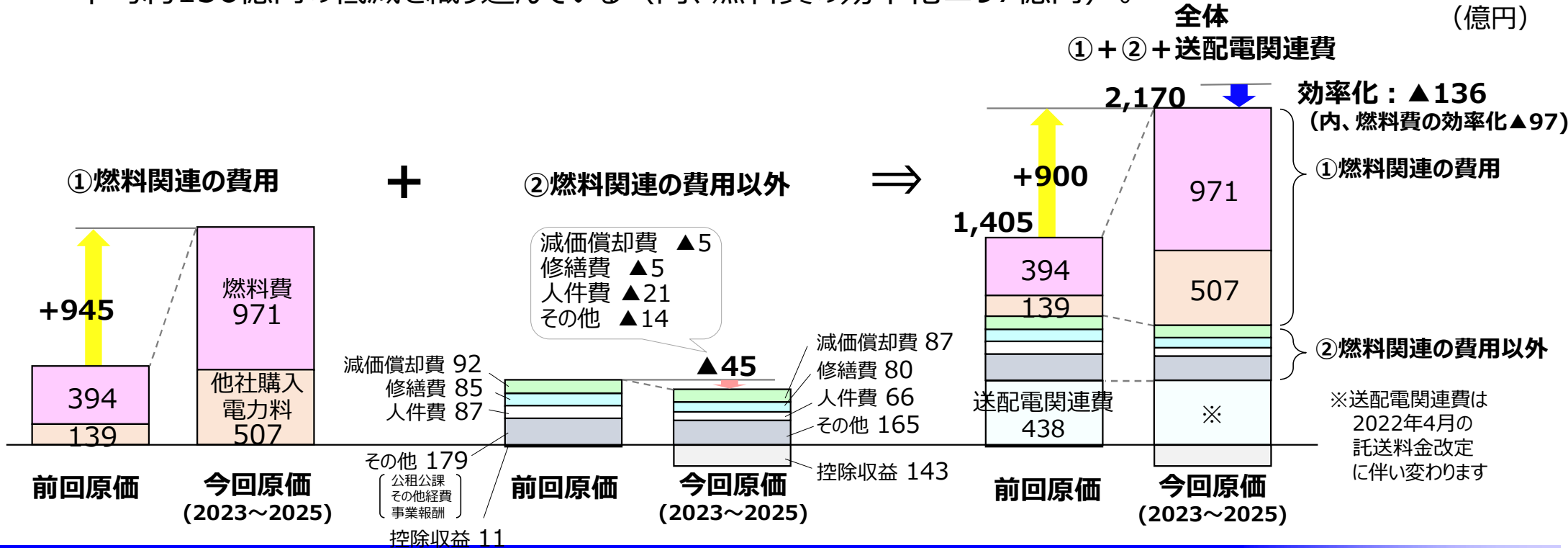
- 原価算定期間は、2023～2025年度の3年間。
- 原油価格、石炭価格、LNG価格、為替は、申請時点の直近3ヵ月（2022年7～9月）の貿易統計価格（平均値）を参照。
- 燃料価格および為替については、前回比で、原油は1.2倍、石炭は4.6倍、LNGは1.2倍（2013※通関CIF価格比）、為替は1.3倍。



※吉の浦LNG火力発電所2号機の運開年度

今回の改定における料金原価

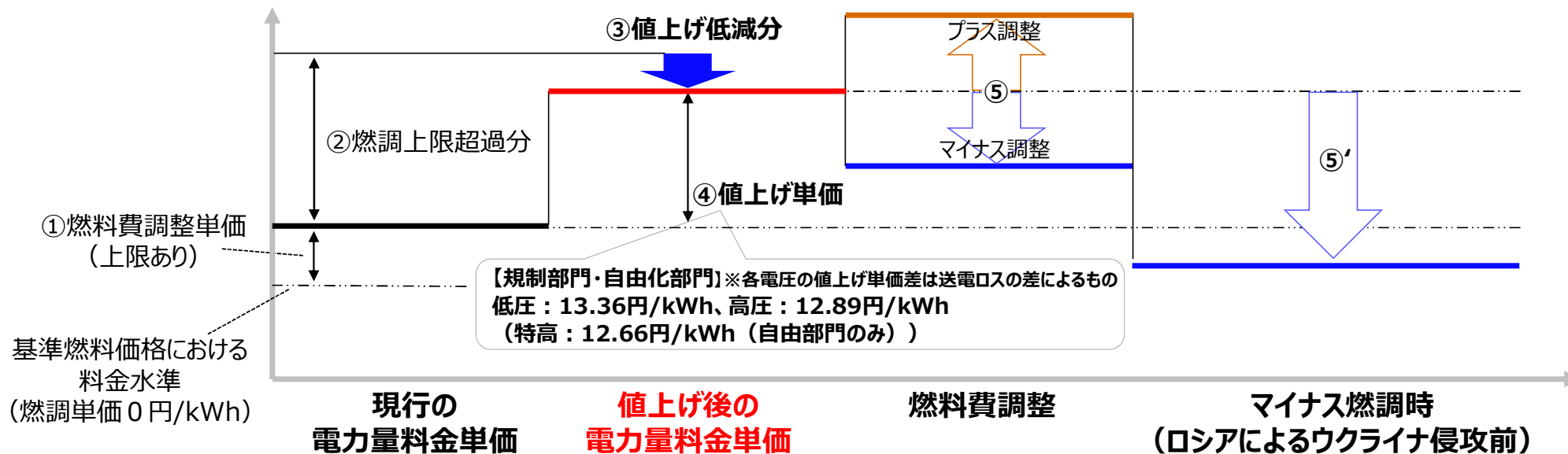
- ▶ 今回原価について、燃料関連の費用（燃料費+他社購入電力料）は燃料価格の高騰等や再エネ買取電力量の増加により、前回原価と比較して945億円増加となる見込み。
- ▶ 減価償却費や修繕費、人件費といった燃料関連の費用以外は前回原価と比較して▲45億円として織り込み。
- ▶ 申請料金原価（全体）については、前回原価と比較して900億円の増加となるものの、経営効率化により年平均約136億円の低減を織り込んでいる（内、燃料費の効率化▲97億円）。



料金値上げの内容（イメージ）

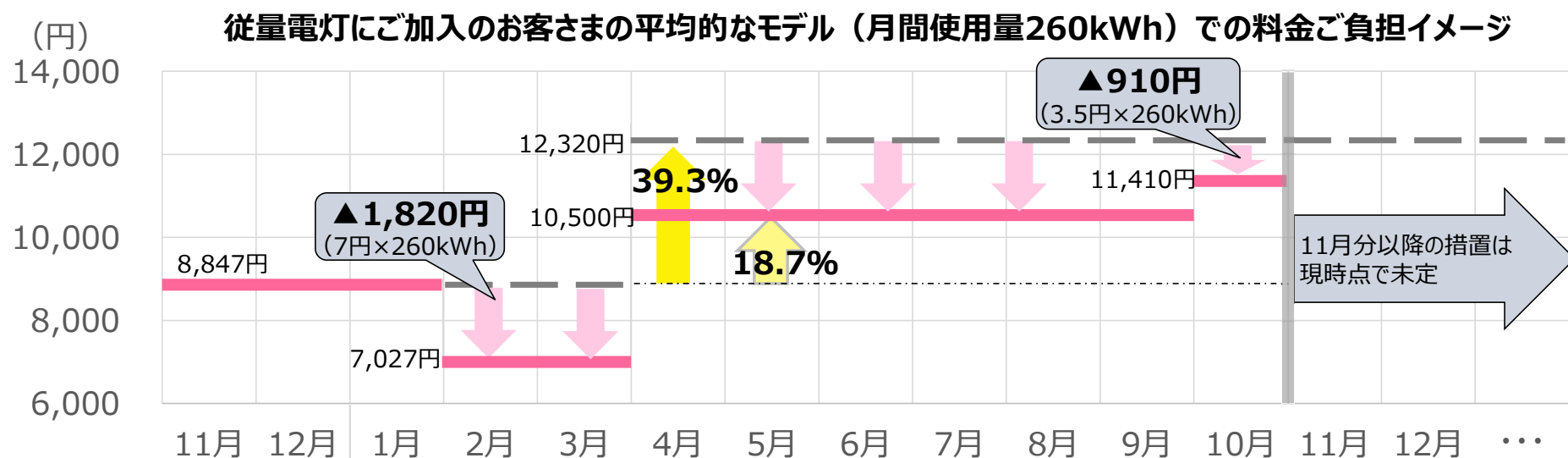
- 今回の値上げにあたっては、燃料費調整制度（以下、燃調制度）の上限価格（①）を超過した影響分（②）を織り込んだ上で、最大限の経営効率化により値上げを低減（③）。
- 主たる要因が燃料費の上昇となっていることから、燃調制度と同様、現行の電力量料金単価に一律の値上げ単価を上乗せ（④）。
- 燃料価格の変動は燃調制度により毎月変動（⑤）。燃種毎の価格動向にもよるが、仮に、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受ける前のレベルまで燃料価格が下がった場合（⑤'）、現行の電力量料金単価よりも低下する見込み。

※2017年4月に導入したEeホームやEeビジネス、既に燃調上限のないメニューをご契約いただいている特別高圧、高圧の自由料金メニューのお客さまについて、今回の見直しは更なる値上げということではなく、燃調分を含めて料金の構成を見直し、効率化分を織り込んだ単価を設定することになるため、燃調上限のない料金水準よりも値下げとなります。（託送料金変動分は含みません）



(参考) 国の電気・ガス価格激変緩和対策と当社の料金値上げとの関係 (イメージ)

- 国による電気・ガス価格激変緩和対策に係る電気料金の値引措置は、2023年2月分電気料金（1月検針日以降のご使用分）から実施される予定。
- 2023年4月実施予定の当社の電気料金値上げ後においても、当該値引単価（低圧：7円/kWh、高圧：3.5円/kWh）は2023年9月分料金まで継続適用され、2023年10月分電気料金に適用される値引単価は半額となる予定。（2023年11月分以降の措置は現時点で未定。）
- 従量電灯にご加入のお客さまの平均的なモデル（月間使用量260kWh）の場合、当社電気料金値上げによる値上げ率は39.3%となるものの、当該値引き措置により増加分の割合は18.7%となる見込み。



・値上げ前料金には上限単価を適用した燃調額を含み、値上げ後の料金には燃調額は含まない。
・再生可能エネルギー発電促進賦課金（3.45円/kWh）を含む。
・新たな託送料金制度の変動単価分（見込み）は含まない。

(参考) 新たな託送料金制度の反映

- 一般送配電事業者における必要な投資とコスト効率化を両立させ、再生可能エネルギー主力化やレジリエンス強化等を図ることを目的とした新たな託送料金制度（レベニューキャップ制度）が2023年4月より導入。
- 今回の電気料金の値上げの他に、当該制度に伴う託送供給等約款の見直しを踏まえた、電気料金単価への反映について、2023年4月1日から予定。
- 具体的な料金単価は、新たな託送供給等約款の認可を踏まえ、改めてお知らせ予定。

	1kWhあたりの変動単価 (見込み)
特 別 高 圧	0.62円
高 圧	1.16円
低 圧	1.86円

※一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則に準じた参考値

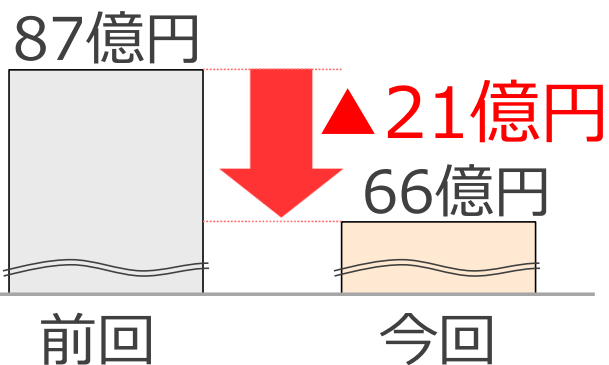
経営効率化の内訳

- 人件費については、役員給与・社員給与水準の引き下げにより▲21億円を低減。
- 燃料費については、調達方法、調達先の多様化による燃料費の低減等により▲97億円を低減。
- 修繕費や減価償却費の設備関連費については、点検周期や設計、仕様、工法の精査等により▲8億円を低減。
- その他経費については、支出項目の精査・厳選等により▲10億円を低減。

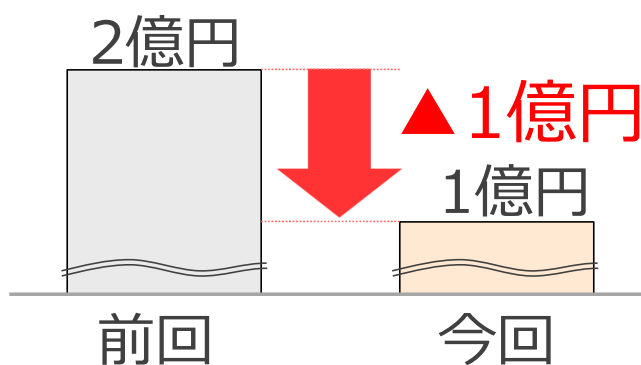
項目	2023~2025 平均	取り組み内容
人 件 費	▲ 21 億円	・審査要領等を踏まえた 役員給与・社員給与水準の引き下げ 等
燃 料 費	▲ 97 億円	・調達方法、調達先の多様化による燃料費の低減 ・発電単価を考慮したLNG・石炭機の運用効率化等による燃料費の低減 等
修 繕 費	▲ 7 億円	・点検周期、設計・数量・単価等の精査によるコスト低減 等
減 価 償 却 費	▲ 1 億円	・設計・仕様・工法の精査、発注方法の見直し 等
そ の 他 経 費	▲ 10 億円	・支出項目の精査・厳選や契約内容の見直し等による普及開発関係費、 委託費、諸費、賃借料の削減 等
合 計	▲ 136 億円	

- ▶ 役員給与、給料手当を引き下げを行い、退職給与金における年金資産運用の見直し、福利厚生制度の見直し等の効率化を織り込むことで、人件費全体で、前回改定原価と比較して約21億円の減少。
- ▶ 役員給与については、前回改定原価と比較して約1億円の減少。
- ▶ 給料手当については、前回改定原価と比較して約12億円の減少。

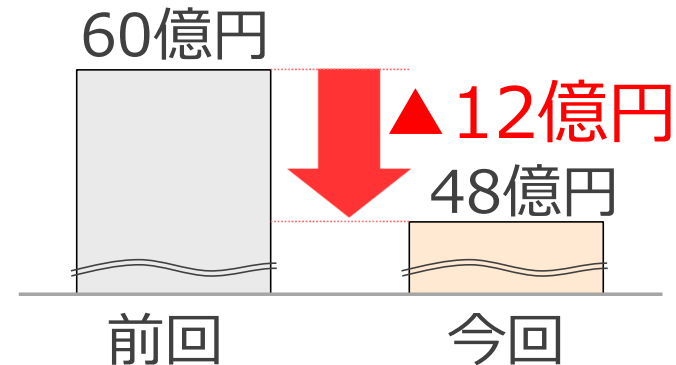
人件費原価 (▲24%)



役員給与 (▲51%)



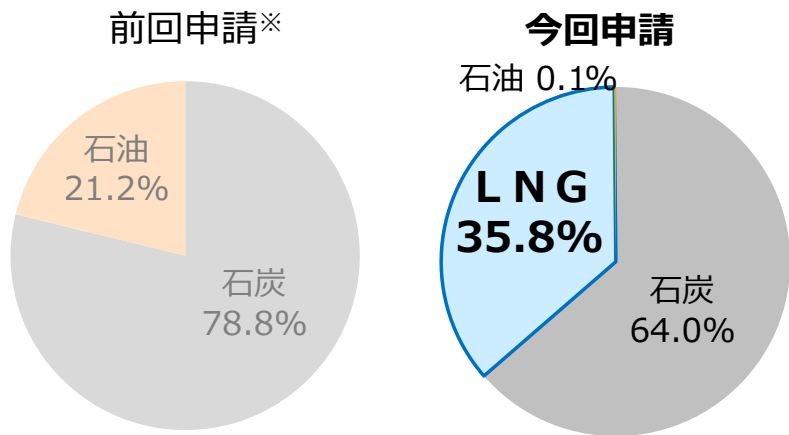
給料手当 (▲20%)



燃料費の低減（電源多様化について）

- 2012年にLNGを燃料とする吉の浦火力が運開したことにより、減価償却費等の増加がありましたが、効率化により電気料金の上昇抑制に努めてきたところ。
- 今回の申請による自社の燃料別発電電力量割合は石油火力：0.1%、石炭火力：64.0%、LNG火力：35.8%
- 吉の浦火力が運開し、電源を多様化したことにより、電源構成が石炭と石油のみであった場合と比べて、一般の燃料価格高騰局面では92億円（3ヶ年平均）の燃料費の抑制を原価に織り込むことができ、価格変動リスクの分散化に繋がっている。

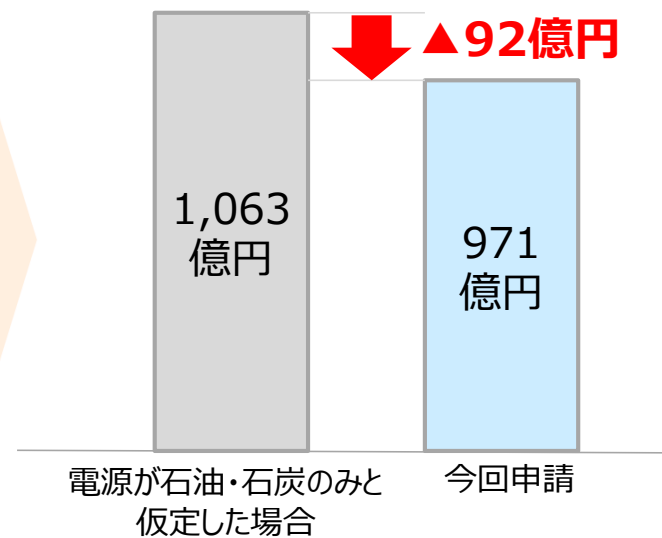
＜自社発電電力量割合＞



※離島および電源持替相当分を含む

LNG火力が運開し
電源を多様化したことにより、
92億円の燃料費抑制
を原価に織り込み
(価格変動リスクの分散化)

＜燃料費（3ヶ年平均）＞



(参考) 規制料金の値上げ影響 (低圧の主なご契約メニューの値上げ影響)

- 規制部門の低圧の主な契約メニューにおける値上げ影響額は、以下のとおり。
- ご家庭等で、最もご契約口数の多い従量電灯にご加入のお客さまの値上げ影響額について、平均的なモデル（月間使用量260kWh）で約39%の値上げ。

【値上げ影響（託送料金変動分は含まない）】

契約種別	契約電力	1か月の ご使用量	お支払額（月額）		値上げ額 （月額）	値上げ率
			現在	値上げ後		
従量電灯	—	260 kWh	8,847 円	12,320 円	3,473 円	39.3 %
低圧電力	8 kW	560 kWh 夏季：196 kWh その他季：364 kWh	22,738 円	30,219 円	7,481 円	32.9 %

※低圧電力は、1年間のご使用量（夏季・その他季）を1か月当たりとし、力率90%で算定しております。

※現在および値上げ後のお支払い額は、消費税等相当額および2022年度の再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

※現在の支払い額には、2022年7月～9月の平均燃料価格に基づく燃料費調整単価(3.98円/kWh)を含みます。

※実際の値上げ実施日・料金等は、経済産業大臣の認可を受けて決定されます。

※実施日以降、実際にお支払いいただく電気料金は、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金により変動する場合がございます。

(参考) 規制料金の値上げ影響 (高圧の主なご契約メニューの値上げ影響)

➤ 規制部門の高圧の主な契約メニューにおける値上げ影響額は、以下のとおり。

【値上げ影響 (託送料金変動分は含まない)】

		契約電力	1か月の ご使用量	お支払額 (月額)		値上げ額 (月額)	値上げ率
				現在	値上げ後		
500kW 未満の お客さま	業務用電力	90 kW	16,200 kWh 夏季：4,860 kWh その他季：11,340 kWh	約51万円	約72万円	約21万円	40.7 %
	高圧電力A	80 kW	18,400 kWh 夏季：4,970 kWh その他季：13,430 kWh	約51万円	約74万円	約23万円	46.8 %
500kW 以上の お客さま	業務用電力	700 kW	150,500 kWh 夏季：45,150 kWh その他季：105,350 kWh	約456万円	約650万円	約194万円	42.6 %
	高圧電力B	800 kW	240,000 kWh 夏季：64,800 kWh その他季：175,200 kWh	約632万円	約941万円	約309万円	48.9 %

※使用量は、1年間の使用量(夏季・その他季)を1か月当たりとしたものです。
 ※現在および値上げ後のお支払い額は、力率100%で算定しており、消費税等相当額および2022年度の再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。
 ※現在の支払い額には、2022年7月～9月の平均燃料価格に基づく燃料費調整単価(3.84円/kWh)を含みます。
 ※実施日以降、実際に支払いいただく電気料金は、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金により変動する場合がございます。

(参考) 自由料金の値上げ影響 (主なご契約メニューの値上げ影響)

➤ 自由料金の主な契約メニューにおける値上げ影響額は、以下のとおり。

【値上げ影響 (託送料金変動分は含まない)】

	契約電力	1ヵ月のご使用量	お支払い額		値上げ額 (月額)	値上げ率
			現在 (月額)	値上げ後 (月額)		
低圧	グッドバリュープラン		260kWh	8,780円	12,253円	3,473円 39.6%
			400kWh	13,874円	19,218円	5,344円 38.5%
	プレミアムバリュープラン		1,000kWh	33,842円	47,202円	13,360円 39.5%
高圧	業務用Ⅱ型	240kW	81,600kWh	約221万円 (約331万円)	約326万円 (約326万円)	約105万円 (▲約5万円) 47.6% (▲1.5%)
	高圧A季特別	145kW	55,100kWh	約136万円 (約210万円)	約207万円 (約207万円)	約71万円 (▲約3万円) 52.3% (▲1.6%)
	高圧B季特別	1,000kW	440,000kWh	約1,081万円 (約1,675万円)	約1,648万円 (約1,648万円)	約567万円 (▲約27万円) 52.5% (▲1.6%)
特高	特別高圧A (2万V)	1,980kW	693,000kWh	約1,900万円 (約2,819万円)	約2,777万円 (約2,777万円)	約876万円 (▲約42万円) 46.1% (▲1.5%)
	特別高圧B (2万V)	1,700kW	680,000kWh	約1,658万円 (約2,560万円)	約2,519万円 (約2,519万円)	約861万円 (▲約41万円) 51.9% (▲1.6%)

※現在の支払い額には、2022年7月～9月の平均燃料価格に基づく燃料費調整単価(低圧：3.98円/kWh、高圧：3.84円/kWh、特別高圧：3.77円/kWh)を含みます。

※ () について、既に燃調上限のないメニューをご契約いただいている特別高圧、高圧の自由料金メニューのお客さまについて、当該モデルでの試算額となっており、燃調上限のない料金水準よりも値下げとなります。

【燃調上限の設定がないメニュー (例)】

Eeホームホリデー	600kWh	25,440円	24,015円	▲ 1,425円	▲ 5.60%
-----------	--------	---------	---------	----------	---------

※現在の支払い額には、2022年7月～9月の平均燃料価格に基づく燃料費調整単価(17.98円/kWh)を含みます。

【共通】

※現在および値上げ後のお支払い額は、消費税等相当額および2022年度の再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます。

※実施日以降、実際にお支払いいただく電気料金は、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金により変動する場合がございます。

- 全ての自由料金メニューについて、燃調上限を2023年4月からは廃止。

※特別高圧および高圧の自由料金メニューの2023年4月からの燃調上限廃止については、2022年7月29日に公表済み。

※グッドバリュープラン、プレミアムバリュープラン、従量電灯plusのお客さまについて、2022年4月より燃調上限を設定する特別措置を実施していましたが、2023年3月をもって終了いたします。

※離島等供給約款における時間帯別電灯、Eeらいふ、業務用電力Ⅱ型、業務用季節別時間帯別電力、業務用ウィークエンド電力、季節別時間帯別電力、時間帯別調整契約、深夜電力および特別高圧メニューについても同様に2023年4月より燃調上限を廃止いたします。

- 低圧の下記対象メニューの供給条件についても一部、変更させていただく予定。主な変更箇所は以下のとおり。

【対象メニュー：時間帯別電灯、Eeらいふ、深夜電力等】

1. 検針票の投函廃止

毎月の電気のご使用量などは、当社ウェブサイトの「実績照会サービス」よりご確認ください。

2. 書面発行手数料の導入

紙の検針票の発行や振込払いをご希望される場合、書面発行手数料（税込220円）を毎月の電気料金に上乗せしてお支払いいただきます。

3. 制限中止割引の廃止

台風などの災害時に停電となった際の割引を廃止いたします。
(Eeらいふの場合、停電1日につき70円弱の割引)

※1～2については、お客さまへの影響の軽減のため、猶予期間を設ける予定です。

※離島等供給約款については今回変更の対象外となります。

値上げに係るお客さまへのご説明

- お客さまへは、値上げに至った背景、経営効率化の取り組み、値上げの内容等を新聞広告や当社ホームページにてお知らせする他、ご説明資料またはダイレクトメール等をお届けすることに加え、お電話やご訪問等により、丁寧にご説明してまいります。
- また、各種団体さまへのご説明や、日常業務におけるお客さまとの接点などを通じて、丁寧なご説明に努めてまいります。

<p>ご家庭などのお客さま (低圧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページにおいて、詳細かつタイムリーな情報提供を行うとともに、お客さまご自身の料金値上げによる影響額をご試算いただけるツールをご準備いたします。 ■ ダイレクトメール等をお届けすることで、お客さまへもれなくお知らせいたします。また、新聞広告により広くお知らせいたします。
<p>法人のお客さま (特別高圧、高圧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ご説明資料を郵送のうえ、お電話やご訪問等を通じて、値上げに至った背景、経営効率化の取り組み、値上げの内容や値上げによる影響額等を丁寧にご説明してまいります。
<p>各種団体さま</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種団体さまに、ご訪問等を通じて、丁寧にご説明してまいります。
<p>お問い合わせへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 値上げに関するお客さまからのご意見・ご質問等に対する専用窓口（電気料金値上げに関する専用ダイヤル）を設置し、お問い合わせに対して丁寧にお応えしてまいります。

(参考) お客様のお役に立つ情報・お問い合わせ窓口のご案内

▶ 当社ホームページにおいて、電気を効率よくお使いいただくための節電・省エネの方法や、契約メニューの変更によるシミュレーション等、お客様のお役に立つツールをご紹介します。

■ 節電・省エネに関するお役立ちツールのご紹介

①ご家庭向けエコアイデアとして、電化製品の上手な使い方についてご紹介しております。

<https://www.kaeru.tv/eco/idea.html>

②2022年度節電キャンペーン申込受付中です。
・受付期間：2022年10月28日～12月31日

<https://more-e.okiden.co.jp/event/detail/64>



①法人のお客様向けに、省エネ手法についてご紹介しております。

<https://www.okiden.co.jp/business/e-waja/energy-saving/>

②高圧・特別高圧でご契約のお客様に、「冬の節電 キャンペーン2022（高圧・特別高圧）」申込受付中です。

・受付期間：2022年11月16日～12月31日

<https://go.okiden.co.jp/ecocampaign202201>



■ 電気料金比較シミュレーションのご紹介

電気のご使用量を入力し、現在のご契約メニューとその他のご契約メニューとの料金を比較します。

電気料金単価表はこちらに掲載しております。

<https://www.okiden.co.jp/common/price/>

<料金比較結果>

各メニューにおける試算結果は、年間を通して比較することをおすすめしております。

	従量電灯 (比較元の契約)	グッドレビュー プラン	プレミアムレビュー プラン
電気料金	17,864円	17,551円	16,942円
差額	-	-313円	-922円

基本料金	402円	402円	10,590円
電力量料金合計	13,746円	13,434円	2,637円
燃料費調整額※	1,989円	1,989円	1,990円
割引	0円	0円	-
再エネ賦課金※	1,725円	1,725円	1,725円
詳細	詳細	詳細	詳細

料金メニューの変更は[こちら](#)

■ お問い合わせ窓口

【沖縄電力ホームページ】 <https://www.okiden.co.jp/>

【電気料金値上げに関する専用ダイヤル】 0120-586-704

受付時間：月～金 8：30～17：00 <祝日,振替休日,慰霊の日,旧盆（7/15）,年末年始（12/29～1/3）を除く>

【沖縄電力ホームページQRコード】

